

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	広域サイクリング観光推進事業		
事業主体 (連絡先)	広域サイクリングルート研究会 (長野県下水内郡栄村大字北信 3586-4 震災復興祈念館絆1階)		
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,047,600	円	(うち支援金: 799,000 円)

### 事業内容

「ちくしなぶらりチャリ」と銘打った当地域でのポタリング観光推進事業をターゲット層に広く周知させるため、専用ホームページを開設。またチラシ・ポスターのぼり旗を作成し、3市町村内の提携事業者者に配布したり、隣接する市町村などにも配布した。

SNS キャンペーンを実施し、当地域を自転車で巡りインスタグラムに投稿してくれた訪問客に、抽選で景品を進呈。地域の魅力を発信してもらう試みを行った。

レンタサイクル乗捨事業においては、3市町村間での乗捨利用に関する協定書を締結し、各市町村で不足していた自転車運搬用具などを購入し、乗捨サービスの整備を整えた。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・ホームページやチラシ・ポスターなどで事業を周知させたことで、当地域をレンタサイクルで観光する訪問客が増え、レンタサイクルの利用者数の増加にもつながった。

・関係者内で、事前に設定した当地域内のサイクリングルート試走を行い、魅力的なスポットや飲食店等を発掘でき、その情報の発信や、危険なポイントの発見など、旅行者がよりポタリングを楽しめるような魅力のブラッシュアップができた。

・3市町村間で乗捨利用の協定を締結し、必要な自転車運搬用具を揃え、次年度計画している乗捨利用の正式実施に向けた準備を整えることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

制作したホームページやPRに関連した制作物を引き続き利用し、当事業のさらなる認知向上に務め、当地域を訪れた観光客に対するサイクルツーリズムの魅力を紹介していく。

各地域の観光関係者に対する当事業の認知度をより高めるため、一般客への認知向上と同時に、宿泊・飲食・観光施設など関係各所との連携を強化し、地域が一体となり観光客に対しサイクリングの魅力を伝えていけるよう取り組みを行いたい。

また、一部完遂することができなかった乗捨事業について、令和5年度事業として引き続き進め、一般客への正式利用を開始できるように取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



### 【目標・ねらい】

- ① 「ちくしなぶらりチャリ」の周知
- ② レンタサイクルの利用者数増加
- ③ 3市町村のサイクリングの魅力発信
- ④ 3市町村間の自転車相互乗捨利用

### ※自己評価【B】

【理由】プロモーション事業においてはHP作成等、計画通り行うことができたが、乗捨事業の計画進行に一部遅滞があり、予定していた一般客への試験運用の実施ができなかったのが悔やまれた。